

第6回冠攣縮研究会・プログラム

7月23日(土) 16:00 リーガロイヤルNCB 2階 「淀の間」

1. 開会の挨拶 (16:00~16:05)

熊本大学 小川久雄

2. 事務局より 多施設共同前向き登録研究進捗状況報告 (16:05~16:20)

冠攣縮研究会事務局 安田聡 (東北大学)

3. 一般演題 (16:20~18:20) (発表7分・討論5分)

座長: 熊本大学 小川久雄

- 1) 愛媛県立新居浜病院・河野浩明: 冠攣縮狭心症におけるOCT所見の検討
- 2) 東海大学・南川翔・冠攣縮に伴うプラーク内血腫によりACSを来した1例
- 3) 近畿大学医学部奈良病院・上森宣嗣・冠攣縮性狭心症によるAMIに心破裂を合併した1例
- 4) 熊本済生会病院・伊藤美和・難治性冠攣縮狭心症で心室細動をひきおこした1例
- 5) 広島鉄道病院・寺川宏樹・難治性冠攣縮狭心症の臨床背景について
- 6) 日本医科大学千葉北総病院・村上大介・致死性難治性冠攣縮へのアプローチ~CCB3剤併用の可能性
- 7) 杏林大学・伊波巧・器質性冠動脈病変を伴わない低左心機能症例における冠攣縮の影響
- 8) 新潟県立新発田病院・田邊恭彦・ゴルフ中に心肺停止をきたした1例
- 9) 東北大学・菊地翼・冠攣縮性狭心症患者における末梢多形核白血球中のRho-kinase活性の亢進-診断と活動性評価に対する有用性-
- 10) 熊本大学・佐藤幸治・Coronary Spasm is Frequently Observed in Patients with Obstructive Coronary Artery Disease Accompanied With Rest Anginal Chest Pain

休憩 (18:20~18:40)

4. 特別講演 (18:40~19:40)

座長: 東北大学 下川宏明

演者: Filippo Crea MD

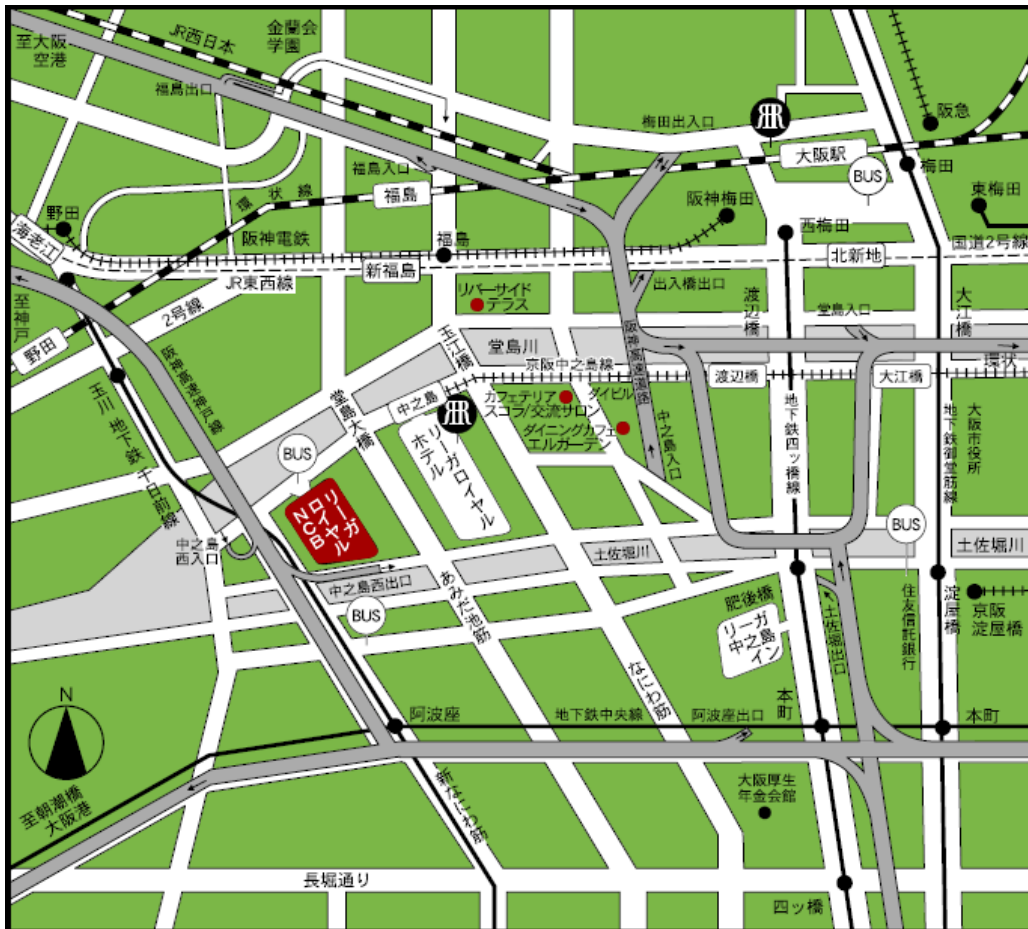
(Professor of Cardiology, Catholic University, Italy)

Title: Importance of coronary vasomotion in the pathogenesis of myocardial ischemia

5. 閉会の挨拶 (19:40~19:45)

東北大学 下川宏明

6. 情報交換会 リーガロイヤルNCB 3階「雪の間」



交通

(BUS) 市バスのりば (R) リーガロイヤルバスのりば

■会場：リーガロイヤル NCB (TEL : 06-6443-2251)

■伊丹空港→J R大阪駅

(バスで約 30 分)

伊丹空港北ターミナル 4 番、もしくは南ターミナル 14 番より

■J R大阪駅→リーガロイヤルホテル

(無料シャトルバスで約 10 分)

大阪駅西側発 7 : 45 ~ 22 : 15

(10 : 00 ~ 21 : 00 6 分間隔)

(7 : 45 ~ 10 : 00、21 : 00 ~ 22 : 15 15 分間隔)